

千葉市とノースバンクーバー

姉妹都市がとりもつ縁

土屋 津以子

カナダの西玄関バンクーバーの中心街を抜け、バラード入江にかかるライオンズゲート・ブリッジを渡ると、目の前に高層の建物が広がってきます。大きな通りが麓から山の頂上に向かって走り、そここの森や公園にはリスが遊び、鳥が鳴き、色とりどりの花が咲き乱れています。

この美しいノース・バンクーバーをはじめて訪問したのは、真冬でした。どんなに寒いことかと、防寒の仕度で行ったのを覚えていますが。でも暖流のおかげで、肌をさすような寒風は全くなく、ただしとしとと雨ばかり降っていました。晴れた日には山々の頂に雪が見え、実に壮麗でした。街から車で十分も登るとスキー場があり人々はスキーを楽しんでいます。夏には夜九時、十時に日が暮れるので、人々は仕事が終わった後もテニスやゴルフに興じると聞きました。

昨年八月にも、ノース・バンクーバー

を娘と一緒に訪ねました。これで五度目の訪問です。そのたびに泊るのには、弟夫婦の家です。弟の妻デナルダは小学校の先生で、十年前、姉妹都市交換学生のリーダーとして来日したとき、わが家に滞在したのが縁となって、弟と結婚したので、弟はいま、BC州政府の電力公社に勤めています。

市長のジャック・ロウクス氏は、デナルダの小学校の校長先生だった人です。そのため、教育には特に理解の深い方です。私も、訪問のたびに、松井千葉市長からのメッセージをお渡しし、千葉市の様子をお話します。今では千葉市民の殆どの人が、姉妹都市の意義を認識するようになり、千葉市から中学生の剣道訪問、山岳会の人達の交流など、あらゆる方面にわたって交流がなされるようになりました。カナダ建国百年祭の時には、日本の歌と踊りに、集まった市民の人々が歓声を上げて喜んでくれましたので、民間外交のお役に立てた喜びで胸がいっぱいになったこともありました。

千葉市と姉妹都市を結んで十四年。以来毎年、夏の一か月間、交換学生の交流を続けています。私も受け入れ家庭を何度ももいたしました。一昨年の夏、ロンソ

ン通りのバス停でバンクーバー市街行き
のバスを待っていた時のことです。若い
女の人がしげしげと私を見つめています。
私がふと気付くと、それは六年前に受け
入れたローレルでした。「ローレル」――
思わず名を呼びますと、彼女もとびついで
来ました。涙をいっばいためて再会を
喜び合い、バスが来たのも忘れて思い出
話にふけりました。

今度もロウクス市長と夕食会でお会い
して、松井市長より託されたメッセージ
をお渡しし、千葉市の様子、交換学生の様
子などをお話しました。夕食会では、市
長夫妻をはじめ、弟の友人、デナルダの
親族など、みんなが心から歓待して下さ
り、異国の地とは思えぬ友情を示して下
さいました。弟の友人の中に日系二世の
方もいて、日本の歌を聞かせて下さり、
思わず感激しました。市長夫妻を囲んで



ノース・バンクーバーの街角で。左端は筆者

のなごやかな雰囲気
に、カナダ人の気質
をかい間見た様な気がしま
した。

海と山に囲まれた美しい
都会ノース・バンクーバー。そ
の豊かな人々の心に接して、すてきな都
市と姉妹である千葉市民の幸せを嬉しく
思いました。

(千葉市姉妹都市市民の会理事)

千葉市とノース・バンクーバー市が姉
妹都市提携をしたのは、千葉市の市制五
十周年にあたる一九七〇年一月一日。両
市のライオンズクラブが姉妹関係を結ぶ
ことになり、市民相互の友好を推進する
ため、ぜひとも市同士が姉妹提携して欲
しい、と市当局に要望したのが、縁組み
のきっかけである。

ノース・バンクーバーは、木材、鉱石、
穀物の重要な積み出し港として知られる。
製造業が盛んで、造船所も多い。周辺に
そびえるクラウン、ライオンズ、グライ
ウスといった山々は、スキー、登山、溪流
釣りに最適で、またノース・バンクーバ
ーに美しい景観をそえている。

毎夏の青少年相互派遣、児童絵画の交
換展示、ノース・バンクーバーから少年
音楽隊の千葉訪問、千葉市から少年剣道
団のノース・バンクーバー訪問など、両
市は活発な交流を続けている。

